ANTIFOCUS KEYWORD MAP

反集中 キーワードマップ

Produced by MIRATUKU

B 立ち現れる知

7 新たな知恵は人と人との間に出現する

住民同士の協働が地域全体の活性化につながる
地域住民のワクワク感や住民同士の協働が、地域全体の成長につながる | 119,139
北欧は、平均投票率が70%後半~80%前半で、「どうすれば、残りの20%前後の人に投票してもらえるか?」を常に努力している社会 | 381

人との関係の中で、新たな技術や知恵が発展する
技術と知恵は切り離せない | 221,425
知恵は人と人の関係の間に宿る | 119,139,425
モノをつくるというのは人の関係をつくること | 425

お互いの世界観の共有から新たな知恵が出現する
お互いの世界観を共有しながらひとつのものをつくるプロセスを経ることで新たな知恵が出てくる | 401,425,449
プロジェクトの成功のために、普通は対立構造になりやすい相手とも力を合わせて戦う仲間になる | 449
価値観の違う人とのゆるいつながりが、イノベーションが起きるために重要 | 329
組織を超えて人がつながるコミュニティで共有される、ノウハウが組織をもっとよくする | 203,381,449
地域に根差して生きた人たちの世界観や認識が本質的で、世界共通でものすごく価値がある | 119,401

紋切り型で世界を捉えるのは効率的ではあるが、分断を加速させてしまう
紋切り型の理解ではない方向に世界は動いている | 425
正しい答えが出る環境に慣れすぎると情報の背景が見えづらくなる | 425
住空間と職場を分けるのは効率的ではあるが、それは人間を層で分けることにつながる | 329
カテゴリーを超えて混ざり合い、互いから学び合う | 95,425

9 異なる叡智にアクセスしやすい社会で人類は成長する

人類の成長のために暗黙知を形式知化する
人類が人類として成長するために、暗黙知的な知恵や工夫を形式知化する | 449
人類が大きなイノベーションを起こすには、基礎科学の蓄積による土台が必ず必要 | 221
カリスマ的と言われる人ほど絶対にたくさんの技を使って工夫している | 355

異なる分野を横串で見ることで新たな発見がある
食に関わるプロセスを学ぶことが、学びのプロセスそのものである | 95
分野が異なっても横串で共通項を見てみると近しいものが見えてくる | 449
異分野の叡智の集合知をもって、人間と地球の共存を図る | 119,139,161,203

過去の叡智は現代でも通用する
過去の叡智をトラッキングできると、その時代の知性とつながれる | 95,239,381,425
人類が今やっていることの本質は遥か昔と変わっていない | 139,255
昔の技術は奥深く、まだまだ学べる部分がある | 425
知性の最深部にあるものは全部共通している | 239

特定の文化を真に理解するためには、基本からその背景を勉強すべき
歴史や文化やイノベーションの背景を捉えることが真の理解につながる | 203,255
基本を勉強して理解しなければ文化を理解することはできない | 239,425

人々が社会や知識にアクセスしやすい社会システムをつくれるかが重要
社会参加することがデフォルトで社会に埋め込まれていることが重要 | 381
常に最新の情報に触れられる状況を社会の中に組み込む | 381
新しい知見やツールの情報をアップデートするためのネットワークをつくる | 381

事実に基づき自信をもった情報発信が情報の質を担保する
メディアとしての矜持をもって情報発信することが質の担保となる | 275,425
情報源と信頼度がセットで受け取れない現代だからこそファクトにこだわった発信をする | 9,275
伝達の効率化に注力することで情報の幅が狭まる | 9,203,239

3 異なる価値観に触れることが生き方の選択肢を増やす

違う価値観で生きる人たちとの出会いが生き方の選択肢を増やす
違う価値観で生きる人たちからは本質的な刺激を受けられる | 293,329
いろんな大人の生き様に子どもが出会える環境がその子の生き方の選択肢を増やす | 95,329
経験のある人たちとのプロジェクトに若い人が入ると人材育成の場になる | 119
働き方が違うと結果も違う | 51

自分の人生を進めるために知に触れることが大切
自分の人生をキュレートするには取捨選択するための知識が必須 | 95
自分の中の足りなさを補うには外からの刺激や知が大切 | 139,275
いろんなことを考えるために知識は絶対に必要 | 355

自分と他者が違う存在だと認識することで対話や交流が生まれる
私たちは、一人ひとりが固有の感覚器であるかのように感受したそれぞれの環世界を、
言語や芸術によって表現し互いに交換できる | 401
相手と自分は同じものを見ていないという前提をもち対話をすると、共通する新たな視点を発見できる | 9,73,355
自分の想定を保留する力が創造的な対話を生み出す | 73,139
違いを生かし合う世界観では、聞くことの重要度が高くなる | 161
個の最適が異なるなかで「ふたりの最大化」をするために話し合う | 95,255

15 グレーゾーンに立ち続ける勇気をもつ

答えがわからないなかでも、二項対立するものの間に立ち続ける勇気をもつ
どこにも属さないニュートラルハブな人が一番フラットにディレクションできる | 139,255
答えがわからない中でも、二項対立するものの間に立ち続ける勇気をもつ | 29,239

対立的ではなく3つの概念を掛け合わせてものごとを見る
何ごともまったく違う3つの要素で概念設計するのが大切 | 239,313

13 ものごとの捉え方次第で未来が変わる

自分の情報の受け取り方次第で情報の意味が変わる
その情報を味わおうとする態度が、良い情報の受け取り方に変わる | 9
情報は自分の思考を通過させて初めて意味のある情報となる | 9
情報や体験への意味付けが、そこからの学びを深める | 9,95,119

ものごとの捉え方が変わると行動や未来が変わる
デザインを受け取った人の行動が変わると生態系のように社会は変化する | 139
ものごとを見るときの視点や解像度を上げることが未来を考えることにつながる | 29,95,183
ほんのちょっとの思い込みの問い直しが行動を変える | 29,51
自分という概念を広げて、私たちという感覚をもつことで、社会が変わる | 73,95,119,275,293
月を目指す人によって、月のもつ意味は異なる | 255

多面的・多角的な視点でものごとを捉えると解像度が上がる
ものごとを一面だけで捉えず多面的に捉えようとすると視点の解像度が上がる | 9,183,425
固有だと思っているものも背景にある物語は違う | 51,221,401,425
他の生命と組織との共通項を探る | 221
オンラインで信頼が醸成できるかどうかは世代によって捉え方が違う | 329

問う行為そのものを肯定することが、新たな問いを促す
問うために大事なことは、問うことそのものを肯定することである | 9
自分の中にずっと問いをもち続けることが、問うことに対する美意識になる | 9
自ら問うことを促すためには、問う行為を楽しむ方法を伝える | 9

イシューの設定がアウトカムの8割を決める
イシューの設定がアウトカムの8割を決める | 139

人生の中に生きる意志と意味を見つける
自分が今ここにいる意味を見つけられるとそれが生きる理由にもなる | 119,161
人生の最大化には当人に意志の力が必要 | 95
自分が生きたい世界であれば何があっても乗り越えられる | 95
明日も生きようとする意志が心を豊かにするプロセスのひとつ | 95

A 個の可能性が生かされる共生の基盤

2 多様性がゆるやかに存在できる場は希望を生む

ルールがゆるんだ場だからこそ、ゆるやかな関係性がつくられ、新しいものが生まれる
ルールや計画性がゆるんでいる場が創発を生み出す | 51
開かれた教育では、一人ひとりのやりたいことに合わせて、ゆるやかな関係性がつくられて新しいものが生まれてくる | 355
小さなスケールであれば利他や贈与の精神が機能する | 239
都市の中で自然発生する人の動きが、街の創造性の幅を広げる | 51

規範を取り払うことで、大きな関係性や流れが見えてくる
ルールから個人を解放することが感覚知へのアクセスになる | 95,275
規範を取り払ってみると、途端に開けて豊かな関係性や時間の流れ方が見えてくる | 51,329,425
子どもたちの枠を外す仕掛けによって、一人ひとりが自分の可能性に気づけるようになる | 329
合理性が排除された時間の流れの中で生きる力が芽吹く | 29,139,161

場のあり方が人の心に影響し、そこで起こることも変化する
働いている臨場感が組織の一体感を醸成する | 329
場のあり方が人の心に影響を及ぼす | 51,119,329

多様な人が集まるコミュニティは風通しがよく、一人ひとりが生きやすい
多様な人が集まると、決まり切った場の関係性に風穴を開ける | 51,329
ヒエラルキーが固定するパワーと情報が弱まっている空間の方が生きやすい | 51,161
場に混ざっていきやすい仕掛けがコミュニティの風通しをよくする | 449
どこにもないすごく中途半端な状態な場だからこそ、多様な人たちがそのまま共存できる | 51
幸せが多輪化するとそれぞれが共有できる項目は、ネガティブチェックになる | 255

人も組織も多様であることが社会を豊かにする
一人ひとり違う人間がいるから、私たちの世界は豊か | 401
人や組織それぞれがもつ特性に良し悪しはない | 449

同じ社会に存在していてもそれぞれが自分独自の世界観を築いている
時間的・空間的に同時性のあるなかで過ごしても、人によって時間感覚も見ている世界も異なる | 95,401
自分の浸っている世界の常識はとても限定的である | 95,139
直接この身体をもって環境に働きかけるなかで、一人ひとりに蓄積される認識があり、そこから生まれる世界観がある | 329,401
同じプロセスで同じインプットを与えても、人によってアウトプットは異なる | 449

多様な人との交流から調和を学び未来への希望をもつ
さまざまな地域での、人との交流を通して、調和を学び、未来の希望をもつことが、日本の観光の軸になる | 119
混ぜこぜの文化で暮らすうちに、多様性の調和が当たり前になる | 119

10 身体感覚を伴った学びが成長には不可欠

おもしろがる力と探究の力は呼応し合う
なんでもおもしろがれる力が最強の学びの力 | 9
新しいことを知るのはすごくおもしろい | 449
研究は答えが出ないからおもしろい | 239,425
すぐには答えが出ないことを普段からポジティブに受け入れるには探究の力が必要 | 9

学び続けることで解像度が高くなる
「学び直し」ではなく「学び続ける」ことが必要 | 381
自分が何かの専門家であることに誇りをもち、自分をアップデートし続ける | 381
最も考える時間に投資してきた人間が、最も解像度高く考えることができる | 239

知識を得るために書物だけでなく自分の身体も使う
身体を使ってその土地に生きることで身に染み込む身識(みしき)は、書物からは決して得られないものである | 401
ファシリテーターを養成するには現場を体験してもらうのが一番 | 355
本はもちろん重要だが、知識を得るプロセスは「体で覚える」ことでもある | 381

失敗やモヤモヤからの学びは成長に不可欠
講師が失敗することにも教育的価値はある | 329
発達や成長には「モヤモヤ」が絶対に必要 | 355

身体感覚を研ぎ澄ますことが問題対処力を上げる
頭で考えるのではなく、身体で考えることで、解への道筋が見える | 29,51,139,275
自分の五感を研ぎ澄ますと恐怖にも対処できる | 293

6 生きものとしてのエネルギーが自然と満ちてくる環境で、その人本来の力が発揮される

生産性や有用性を価値判断の基準にしない社会では、人間の生きものとしてのエネルギーが引き出される
人間を個の「生きもの」として尊重する社会システムであるべき | 51,95
社会に役に立つかどうかや、生産的かどうかではなく、生きもの(人間)としての生き方を考える | 51,293,313
人は、生きものとして受け止められたときにエネルギーが引き出される | 51,95,161
個々の生命は毎秒生き直すような流動性をもつ | 51
社会的・地球環境的にはあまり意味がないことに対して、人間の動きたい、生きたいというエネルギーを浪費しすぎている | 95
これまで積み上げてきた社会システムに乗っけるのではなく
生きものとしての人間が生きやすい環境に再設計する | 51,161,183,293

人間という動物の身体がもつ自然なポテンシャルの追求には価値がある
人間を動物と捉えると身体がもつ自然なポテンシャルの追求になる | 313
いろいろなことがオンラインでできるようになると、身体性を伴う経験の価値がなくなってしまう | 329

自然のエネルギーを感じることで心のバランスがとれる
自然のエネルギーを感じることで心のバランスがとれる | 119,183,293
自然を介して自身のアイデンティティが育つ | 119,425

16 未来を思い描くために今の状態を受け入れる

立ち止まって本質を考える瞬間をつくる
ただ批判するのではなく、「そもそも」に立ち戻って考える | 95
「好き」という感覚のみが、解だけを追い求める思考を一時停止できる | 255
「なぜここでそれをやるのか」というめ然性のあることをやる | 425
何百という選択肢の中から何を選ぶかを決める過程は、何が大事なのかを改めて考える機会 | 401
人が考えたり創造力を発揮したりするには、時間軸や場所、空間的な制限がすごく必要 | 139,239

自分の状態と向き合い受け入れることから一歩が始まる
未来に向かうときに自分の身体や心の状態を無視しない | 29
自分をありのままに受け入れることで、変わるための余白やエネルギーが生まれる | 29
社会的評価ではなく「自分が何者か」を優先すると、自分がいたいようにいられる | 51,161,255,313
360度の自分を感じる意識で生きていると、自分の中での最もありたい状態の自分につながれる | 29
世の中の変化のペースは一定だから、変化を拒絶するほど後から異様なスピードでキャッチアップしなければいけなくなる | 161
腑に落ちなければ身体は止まる | 29,139,161
体感しないと育たない感覚値が自分の意志のベースになる | 95
向かいたい方向を自分自身に聞くと前に進める | 29,275,355
未来に今を従属させず、今を真ん中において過ごすと、自ずと出現してくるものがある | 313

未来を思い描くことは祈りに近い
未来を思い描くことは祈りに近い | 29
正しさの追求の先に人の幸せがあるとは限らない | 255
世界を牽引するビジョンは、ファクトとイマジネーションがバランスよくかけ合わさったものである | 239

死と向き合うことで、本来の自分と向き合う
死を身近に感じると、自分の存在意義を考え、マインドセットが深まる | 255,293
死への畏れをもち続ける | 293
死と向き合うことは本来己と向き合うことである | 293
死を乗り越えるための宗教や呪術に人間の社会のニーズがある | 293

17 自然の摂理に従うことが人類の本来の生き方

人間は自然そのものであるという考えが地球との調和を生む
人間は自然そのものであるという人間性の回復が地球との調和を生む | 73,119,203,221,293
自然への畏れがあるから自然を破壊することなく付き合える | 255,293
人は恐怖を感じると自然とのコミュニケーションを必要とする | 293
自然への畏敬と畏怖がなくなった世界は病気に弱い | 293
地球の仕組みを理解しながら人間性を回復することは、新しい文明をつくることに近い | 203

自然とともに生きて死んでいくのが本来自然な状態
自然とともに生きて死んでいくのが本来自然な状態 | 293
エコシステムに役立つ何かを遺して死ぬのが本来は自然 | 293,313
医師は、死を前にした人間に、医学を超えたさまざまな関わり方ができるはず | 293

自然の中に私たちの生活が内包される感覚をもつ
都市に住む人たちのマインドが変わらないと、他の生きものたちを守ることはできない | 239,313
自然の中に私たちの生活が内包される感覚をもつ | 275,293,313,401

C 意志をもって未来をつくる

11 私たちの豊かさは私たちの手で生み出す

私たちの人生が豊かになるには、人間主体の経済が必要である
豊かな人生を送るには、資本主義を人間主体に取り戻すことが必要である | 203
非線形の経済が結果的に強さにつながる | 275
経済資本、社会関係資本、文化資本のすべてが揃うと人間は豊かになれる | 203
経済資本に加え、社会関係資本、文化資本、自然資本のすべてを増やすことが新しい資本主義である | 203
人の気持ちを上げると経済は動く | 275
想像力を加えた新しい経済指標でお金の流れが変わる | 239

忘れられかけている地域のリソースを回復することが私たちの手に地域を取り戻すことになる
記憶の共有地であるコモンズで「共」を回復し地域を取り戻す | 401
地元で忘れられかけているリソースをもう一度思い出して再利用する | 425

プロダクトやサービスを考えるときの起点は、それを届けたい相手や地域への愛である
自分だけではなく地域、日本、世界の人たちへの愛といった横軸の部分をきちんとつくって、そこからプロダクトやサービスを考える | 275
「世界の中で大事にしたい人」という視点で顧客を捉える | 161,203

好きなことに一所懸命取り組むことが未来をつくる
後悔しない人生を送るためにとにかく好きなことをやる | 255
自分の中にあるワクワク感が未来をつくっていく | 161,255,275
自分の目の前のことを一所懸命ひとつずつ取り組むことが未来をつくることにつながる | 73,255

14 人との関わりが自分を深く掘り下げ視座を高める

個人の思考の質と行動力は、人間関係の土台をもって発揮される
関係の質を上げると思考の質と行動力が上がる | 73,139,449
人間関係の土台ができると人が混ざりやすくなる | 329,355,449

コミュニケーションに必要なのは論理的説明力と伝えたい気持ち
自分の意見を主張できる理論武装と他者を説得するガッツの両輪が国際社会では必須スキル | 381
経験値が足りない部分はパワーで補う | 329

話を聞いてくれる相手がいることで思考の解像度が上がる
良いフィードバックは気づきの解像度を上げる | 183,449
人は、じっくり話を聴いてもらうことで、自分が何を感じ、何を考えているかを言語化できる | 161

100%相手を受け止める姿勢は対話や相互の変容を生み出す
自分の感情を相手にぶつけず、全部受け止める側になることはとても創造的かつ積極的なこと | 183,275
100%相手に寄り添うスタンスを崩さないことでその人を深く知れる | 183
全部を受け止めるコミュニケーションは人の変容を促す | 29,275,329

他者を深く知るためにはまず自分自身のアイデンティティを深く知る
自分とは違う人を深く知るためには自分自身のことをまず深く知る | 425
現代の国境に囚われない自分のアイデンティティを過去の文化から見つける | 425
アイデンティティをつくるというのは、小さな人間界の中で小さな差異を確かめ合って自分自身を規定すること | 51,95
それだけグローバル化が進んでも国というアイデンティティは残る | 255

19 個々人がもつ思いが行動として実現されることが社会変革につながる

「個の私」の根源的な欲求から社会へつながる感覚をもつ
自分の「こうしたい」から地域とつながっていく | 401,425,449
人は「個の私」を発揮したいという根源的な欲求をもっている | 161
能力の個人主義化の行きすぎが分断を起こしている | 355
足元にある地域と地球にまで広がる認識を同時にもつ人間として生まれ直す | 293,401
今この身体で感じていることは社会変革につなげられるという感覚をもつ | 29
すべての人にとって良いものをつくるのは難しい | 29,119

内なる声が社会を変える原動力になる
社会がこうあれば良いという個人の多少のエゴが社会を変える原動力になる | 29,255,275
自分の内の声と社会との接点で感じる外の声の両方がモチベーションになる | 255

個人個人が創造性を発揮できると社会が変わる
場に携わる人それぞれが創造性を発揮できればその場はよくなる | 139,161,425
個人の創造性が社会を変える時代である | 139
自分がもっと楽にいられるように、すでにでき上がった場所ではなくこれから新しく価値観や枠組みがつくられる場所に行く | 161

マインドセットシフトによって社会変革が加速する
社会変革はマインドセットシフトによって加速する | 29,161
ミクロの変容が超マクロな変容につながっていく | 29,161

私たちの日々の消費行動はポリティカル・アクションでもあるし、アートでもある
日々の暮らしの中で何を買うかという消費行動はポリティカル・アクションになるしアートにもなる | 313

平和への強い思いとともに、現実に向けての小さな挑戦をしていく
人間を動物と捉えると身体がもつ自然なポテンシャルの追求になる | 313
いろいろなことがオンラインでできるようになると、身体性を伴う経験の価値がなくなってしまう | 329

困難な挑戦にも覚悟をもって立ち向かう
覚悟をもってプロジェクトを導く | 425
宇宙産業はブルーオーシャンの領域なので、日本が「宇宙の日本」となり得る可能性を秘めている | 255
日本は発展途上国に比べて、困難と思われることが少ないがゆえに、立ち向かう力が必要である | 95

1 個の可能性は場によって引き出される

それぞれが力を発揮できる関わり方を見出す
個々それぞれに適した社会への関わり方がある | 95,381
評価軸がたくさんあれば、みんなそれぞれ自分を発揮できる | 9,95

自分の変容の可能性を実感できる体験が必要
変容するためにトランジションのプロセスを自ら作り出す | 29
自分の変容の可能性を実感できる場が必要 | 51
「自分はこれを望んでいる」という強い意志か、自分にしかつくれない価値を生む | 95
「大丈夫、いける」と思った時が一番良いタイミング | 29
公のサポートがあるからこそ、安心感をもって自分の力を伸ばせる | 355

会社は人を幸せにするために存在する
事業や会社は人を幸せにするために存在する | 203
株主は、経営者に「やりたいことをやれる方法を考えていいんだよ」と言える立場にある | 161,203
企業のエゴが人を不幸にしている時は勇気をもって潰す | 119,203,275
所属することで人生が豊かになる「よい建造物」としての組織が増えると良い | 161

「こうした方がいいのに」と言いたくなるのを教師がグッと我慢することが生徒の成長につながる
教育を大事にするために、クオリティは二の次にして敢えて手を出さない | 329
「こうした方がいいのに」と言いたくなるのをグッと我慢することが生徒の成長につながる | 329,355

8 可能性の追求がさらなる発展の可能性を開拓する

トライ&エラーを積み重ねることで取り組みの解像度が上がる
理論ではなく実践を大事にして社会に絡むとだんだん取り組みの解像度が上がってくる | 329
自分が戦っているフィールド(現場)の情報がたくさんあるオフィスでは良い仕事ができる | 329
新しいフロンティアは、トライ&エラーを重ねて、ルールメイクをするフェーズで進んでいく | 255
研究だけでなく開発にも注力することで科学に貢献する可能性を高める | 221
何もやらないと0のままだが、0よりも0.1がいい、0.1より0.2の方がいいのだから、行動した方がいい | 449

ほんの1%にも満たない可能性の追求が新たな知恵や技術を生み出す
100年前なら神の領域とされたテクノロジーとともに私たちは生きている | 255
研究とは、ほんの1%にも満たない可能性を追求し続けること | 95
100の工夫でなんとか生き延びてきたけど、課題が101になったときに「この1をどう乗り越えようか」というなかで、
新たな知恵や技術が生まれてきた | 381,401

地球の暮らしを知らない宇宙生まれの人類の知性は私たちの想像を超える可能性がある
地球の暮らしを知らない宇宙生まれの人類が、私たちの想像を超えた宇宙文明をつくる可能性がある | 255
物理学で解明できていない現象は、四次元で生きている人間に限界があるから | 221

テクノロジーは人間の能力を拡張させる
テクノロジーが、イマジネーションとクリエイティブをつなげる | 239
テクノロジーには人間の能力を拡張する力がある | 381

細部までこだわったアウトプットは波及力をもつ
切り口を見つけ、見てわかる形にすることが、周囲の説得には必要 | 381
細部までこだわったアウトプットは波及力をもつ | 139

正解のない課題を解く過程で幅広い解が見えてくる
正解のない課題を解く過程で幅広い解が見えてくる | 221,139
正解がない複雑な問題を解くことをデザインと呼び、デザインすることが大事になる | 139
デザインは色や形ではなく概念論である | 239

12 時代の変化の中で、指針となる哲学をもって進む

大きな問いを考えることで、自分自身の進む方向性や立ち位置がわかる
自分に問うたり、相手から問われたりすることで自分の進む方向性と自分の立ち位置がわかる | 29,161
今は「What is your mission?」を積み重ねて自分を深掘りする時代になっている | 203,275
自分に静寂というスペースを与えて出てくる問いが自分を導いてくれる | 203,313
大きな問いについて考える場が必要 | 255
近代社会の構造や目的を問う時代が来た | 95

哲学がバックボーンにあるものはフロンティアを開拓するパワーを秘める
哲学や倫理観をもってフロンティアを開拓すべき | 203,239,255
ただ新たに見た目や使い勝手の良いものを生み出すのではなく、哲学の部分まで設計する | 329,381
科学やアートには、経済性を突き破れるパワーがある | 239

時代の変化を見つめながら私たち人類の生き方を常に問い直す
時代の変化を見つめながら常に今のルールや常識を問い直す | 51,275
コロナは、人類が謙虚で豊かな生き方に変わるきっかけ | 29,203

D 地球史の中で生きる

5 人類と自然が共存共栄するための視点をもつ

人類の発展の裏には自然の犠牲があるという視点をもつ
人類の発展の裏には自然の犠牲があるという視点をもつ | 221
共有財となる宇宙を守るためのアプローチを考える | 221

自然と都市が融合できるような仕組みを考える必要がある
都市に家畜化されてしまった私たち人間がちゃんと都市と自然の間を埋めなきゃいけない | 239,313
その土地ならではの植物が育つと深呼吸して気持ちの良い都市になる | 255

生物多様性を保ったまま、地球や文明と共存共栄する方法を考える
生物多様性を保ったまま、地球や文明と共存共栄する方法を考える必要がある | 119,221
人間が自分たちのために他の生きものから奪ってきたスペースを返していくべきである | 313
圧倒的に強力な自然と折り合いをつけながら「ここで・ともに・無事に」生き延びる感覚を忘れない | 401

18 自分もまた歴史の一部だという長い目で社会を捉え貢献する

社会のために、自分が得た知識や能力をどう還元するかを考える
みんなが住み良い社会にするために自分が得た知識や能力をどう還元するかという視点をもつ | 355
「地域を知ること」と「地域を生きること」が一致した人が地域づくりに関わったときに出てくる答えは他とは異なる | 401
人がいて地域があるのでなく、「人即地域」である | 401

みんなが幸せな社会を築くために、考え行動し続ける
どうせがんばるなら社会を良い方向に進めるために何が一番大切なのかを考え行動し続ける | 381
効率化に重きを置いた事業は人を不幸にする | 203
何のために賢くなるのかというと、みんなが幸せになるため | 355
世の中をどう見ていくのかという視点を、道徳教育や学校教育の中で育む | 355

多くの人へ知のバトンを渡すことで社会が加速度的によくなる
天才のやり方を10%でも方法論化できれば、今までOだった人が大量に0.1になれて加速度的に社会がよくなる | 449
次の世代へのバトンは選択肢の多い社会である | 29
高い山の裾野が広いのと同じように、分野として上に伸びるためには多くの人にその分野が広がらないといけない | 449
自分の個としての死を超えた先を考えて未来の方向性を見出す | 293

生物学的な死後も作品などのかたちで社会に生き続けることはできる
心臓死や脳死をしても、個人が生きていた証が文学や写真という残像で残っているなら死んでいない | 293

私たちは個人としても共同体としても歴史を積み重ねながら生きている
私たちは地域共通の生態・環境の中で歴史を共有しながら生きている | 401

会社経営を長い軸で考えることが結果的に会社が長く生き残る秘訣である
社員との信頼関係を長期志向で構築する | 161
うんと長い時間軸で経営を考えれば、その会社は絶対に社会に役立てる | 161,203
会社の長期を見据えるというのは、数年後の姿を事業戦略として描けているという状態 | 161
会社が「なくてはならない存在」になると目先の競争に勝たなくても結果的に長く生き残れる | 203

ミラツク分析チームによる半年間の作業を通じて、本書に登場する22編の記事を構成している25万文字の文章から645の要素を整理・構造化し、4領域19テーマ87項目のキーワードマップを作成しました。
マップに配置されたキーワードたちは、本書の中に現れるエッセンスです。また、各項目は関連する記事と紐付けられ、逆引きできるようになっています。
このマップは名前の通り「書籍全体を概括する地図」の役割を果たしてくれます。本書で扱われているキーワードを概括し、気になるキーワードを見つけたら、フレーズインデックスから関連する記事を探してみてください。行ったり来たり、情報を繰り返し味わうことが新しい問いへの道標となるはずです。

反集中キーワードマップ | 発行: NPO法人ミラツク
企画: 西村勇哉(NPO法人ミラツク)
制作: 石橋智晴、宇野茉莉花、片野綺子、北嶋友香、古立守、髙木茉弥、竹腰麻由、浜田真弓
(NPO法人ミラツク)
編集: 赤司研介 | デザイン: 中家寿之

反集中特設サイト
miratuku-journal.org
/antifocus

MIRA TUKU